

**録画配信** **土地区画整理事業**

市民が安心安全に生活できる  
基盤整備を

みらいの会  
ほそ だ まさ のり  
**細田 昌孝** 議員

**Q** 住所整理にどれくらいの時間を要するのか

**A** 令和10年度頃からの開始を見込んでいる

**議員** 住所整理が残っているのは新曽地域のみである。住所整理にどれくらいの時間を要するのか。また、いつまでに完了すべきと考えているのか。

**都市整備部長** 新曽中央地区と新曽第一土地区画整理事業区域を一体的に進める予定である。エリアが広いので、2回に分けて実施することになると見込んでいる。また、住所整理「町界・町名変更」の取り組みについては、令和10年度頃からの開始を見込んでいる。

**議員** 市長をはじめとする関係機関は強い意志で臨んで欲しい。そして、土地区画整理事業が遅れることがないように計画通りに進めて頂けるよう強く要望する。

**Q** 100mm対応を柔軟的に考えては

**A** 浸水被害の軽減を図るよう整備を進める

**議員** 東京都をはじめ他自治体では、100mm対応の基盤整備に変更しはじめている。気候変動が激しくなっている状況であることから、100mm対応の計画を柔軟的に考えてはと思うが。

**水安全部長** 北大通りの雨水貯留管は他自治体と同様の考えで整備している。これ以外にも他自治体の取り組みも参考に浸水被害の軽減を図るよう整備を進める。



ゲリラ豪雨で水浸しになる戸田駅周辺

**録画配信** **不登校と給食**

何とかしたくても  
どうにもならない声を

戸田の会  
さとう たかのぶ  
**佐藤 太信** 議員

**Q** 学校給食費等助成制度の取り扱いは

**A** 不登校児童生徒も助成金交付対象となる

**議員** 全国の小中学生の不登校者数は、9年連続で増加し、24.5万人と過去最多。市内では200名を超えている。当事者へのサポート及び家庭との連携について、①児童生徒へのアセスメントを通じ、保護者支援についての見解は②中学校卒業後、切れ目のない支援体制は③学校給食費等助成制度の取り扱いは。

**教育部長** ①保護者支援は欠かせない。研修などを通して、各学校を支援する③長期欠席者や不登校児童生徒で給食の提供を受けていない場合も交付の対象となる。

**健康福祉部長** ②過去の相談歴を把握し、必要な場合は本人同意のもと情報共有を行い、包括的な支援体制について関係部局と検討する。

**Q** 心身障害者福祉センターの課題対応は

**A** ニーズや利用状況を把握する

**議員** 心身障害者福祉センターは川岸にあり、障害に加え高齢化が進み、足が遠のいた人もいる①課題解決に向けた対応は②市内にある公共施設が利用しやすいようtocoバスルートの見直しを。

**健康福祉部長** ①ニーズや利用状況の把握をする。

**都市整備部長** ②法定協議会の中で議論していく。



市内を走るコミュニティバス「tocoバス」

**録画配信** **自治体情報システム標準化**

恐怖の外来植物が戸田漕艇場や  
彩湖道満に侵入するかも

戸田の会  
のざわ しげ まさ  
**野澤 茂雅** 議員

**Q** 現在の取り組み状況は

**A** 情報共有と分析に向けて準備を進めている

**議員** 自治体情報システム標準化の概要は。

**企画財政部長** 自治体は2025年度までに住民基本台帳等の20業務について、国が定めた統一基準に適合した標準準拠システムを利用することが義務付けられた。

**議員** 標準準拠システム導入での市民のメリットは。  
**企画財政部長** オンライン申請を推進するための基盤が整備されることで、市役所に来なくとも手続きが完了する「持ち運べる市役所」の実現などが期待される。

**議員** 本市における現在の取り組み状況は。

**企画財政部長** 業務担当で構成された「情報システム標準化検討ワーキング」にて、基本方針、スケジュール、懸案などの情報共有や、予定される「フィットアンドギャップ分析」\*に向けて準備を進めている。

**議員** 綿密なプロジェクト体制、緻密な計画、導入・移行業務と、優秀な技術者人材確保を進めてほしい。

**その他の質問**

**Q** 「地球上で最悪の侵略的植物」とも呼ばれる「ナガエツルノゲイトウ」が戸田橋付近に繁茂しているが。

**A** 国や県の施策に準じ計画的に対応するとともに、他管轄と連携し、体制整備と機会ごとの支援策を検討する。



ナガエツルノゲイトウ駆除

**録画配信** **聴覚障害者支援**

体外機器器具には  
様々なランニングコストが！

公明党  
みわ こ  
**三輪 なお子** 議員

**Q** 人工内耳装置費用を負担軽減すべき

**A** 国や県の検討状況を注視していく

**議員** 人工内耳装置費用に係る助成制度について伺う。

**健康福祉部長** 体外の機器となる人工内耳用音声信号処理装置の修理費用については、従来、自己負担とされていたが、令和2年度から障害者総合支援法に基づく補装具費支給制度の対象となっている。

**議員** 国において助成の補助対象としていない体内機器や対外装置の送信ケーブルなどの消耗品に係る費用の助成を、本市独自として、日常生活用具給付事業へ追加すべきではないか。

**健康福祉部長** 国や県の対象項目の拡大状況や検討状況を注視し、調査研究していく。

**Q** 指定福祉避難所へ直接避難を

**A** 現在、健康福祉部と調整している

**議員** 要配慮者の個別避難計画の作成件数は。

**危機管理監** 令和5年8月31日現在302件作成済み。

**議員** 一般の避難所に行けない状態の方は、設備や物資が整った福祉避難所へ避難できるよう、避難者に応じた受入れ態勢を事前に整えるべきではないか。

**危機管理監** 本市3カ所の指定福祉避難所の受け入れ対象者については、要配慮者のうちから「市が特定した者」とし、現在、健康福祉部と調整している。



福祉避難所に指定されている福祉保健センター